

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【西浦和小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査では、R4年度より、3・4・5年で下がってしまった。6年は上昇した。しっかり子どもたちが学習の場を共有し、自らの言葉でまとめられるような学習活動の場を増やしていきたい。
思考・判断・表現	学習活動の中で、子どもたちが自ら考え、課題を設定して自分で問題に取り組むための学習の場の確保を校内研修の時間も活用しながら増やしてきた成果が徐々にみられている。国語でも思考・判断・表現の力がついてきているようなので、来年度以降もこのような学習形態を続けていきたい。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、R5年度さいたま市学習状況調査では肯定的な回答の割合は5年生で92%、6年生で95%であった。1年生から4年生においても、ICTを活用した振り返りの実施や記録の蓄積を図り、主体的に学習に取り組む態度を育てていきたい。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	R4年度全国学力・学習状況調査及びR4年度市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「知識・技能」において2pt向上させる。	⇒ 「ドリルパーク」「スタディサプリ」等を活用し、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組む。また、家庭学習や短時間学習の時間を活用し、習熟する時間を数多く設定していく。
思考・判断・表現	R4年度全国学力・学習状況調査及びR4年度市学習状況調査の自校結果より国語・算数の「思考・判断・表現」において2pt向上させる。	⇒ 児童が作品・レポート等に取り組む際、考える視点を提示しながら自力で問題を設定していくように学習内容を工夫する。また、発表の仕方について、グループ協議も活用し、問の取り方や定型文の言い方について学校で統一して指導していく。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査及びR5年度市学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合を85%以上にする。	⇒ 全ての授業において、児童とともに必要感のある課題を設定し、解決の見通しをもたせて、自力解決する場を数多く設定していく。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	R5年度さいたま市学習状況調査では、R4年度より、国語で、3年で-3pt・4年で-6pt・5年で-6ptと下がってしまった。6年は+1pt上昇した。算数では、3年で-1pt、5年で-2ptと下がったが、4年度は+12pt、6年で+2ptとアップした。	B
思考・判断・表現	R5年度さいたま市学習状況調査では、R4年度より、国語で5年では-6ptと下がってしまったが、3年で+12pt・4年で+6pt・6年で+4pt上昇した。算数では、3年で-6pt、5年度-12ptと下がったが、4年で+2pt、6年で+4ptと上昇した。	B
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、6年生で、R4年度さいたま市学習状況調査では肯定的な回答の割合は84%であったが、R5年度さいたま市学習状況調査では95%であった。	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	国語では、+2pt向上できた。算数では、+0.6ptの向上にとどまったが、全国平均よりは2pt向上している。基礎的な学習を今後も粘り強く取り組んでいく。
思考・判断・表現	国語の「話すこと・聞くこと」では、+1.9pt、「読むこと」では、+2.9ptアップした。しかし、「書くこと」については-23.1ptと減少した。算数では、-0.3ptと微増にとどまった。校内研修でも算数の研修に取り組む中で伸ばしていくようにする。
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が93.5%となり、目標を達成することができたので、今後も自分に必要感ある課題を設定し、解決の見通しをもたせ、自力解決する場を数多く設定していく。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」ではR4年度調査より国語で-3pt、算数で-1ptであったが、「思考・判断・表現」においては、国語で+12pt、算数で-6ptだった。国語で考えることが大幅アップすることができ、指導法の工夫を進めた効果があらわれている。	小4	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」ではR4年度調査より国語で-6pt、算数で+12ptであったが、「思考・判断・表現」においては、国語で+6pt、算数で+2ptだった。算数ではしっかりと基礎学力が定着してきている。
小5	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」ではR4年度調査より国語で-6pt、算数で-2ptであった。「思考・判断・表現」においては、国語で-11pt、算数で-12ptだった。思考・判断・表現の活動を大切にしていこう。	小6	R5年度さいたま市学習状況調査「知識・技能」ではR4年度調査より国語で+1pt、算数で+2ptであったが、「思考・判断・表現」においては、国語で+4pt、算数で+4ptだった。この傾向は社会でも見られ、それぞれ+2ptずつアップすることができ、指導法改善の成果があらわれている。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	修正なし	⇒ 修正なし
思考・判断・表現	修正なし	⇒ 国語の「書くこと」が下がってしまったので、授業の中で、プリントやタブレットに書く活動を多く取り入れていくようにする。
主体的に学習に取り組む態度	修正なし	⇒ 修正なし